

# 第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

## 報告書資料 一般 - 55

学校名・団体名	岡崎市立岩津小学校現職研修部
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	自ら考え、判断し、表現する岩津っ子の育成

### 〈活動・研究の意義および活動報告〉

#### 【研究の意義】

現在の小学生が大学を卒業する頃には、その多くが現時点では存在しない職業に就くことが予想されている。めざましい科学技術の進歩の中で、産業や経済、社会の構造は驚くべき速さで変化しており、情報化、グローバル化が進み、やがて人工知能が人類を超える時代もやって来ると言われている。子供たちには、こうした時代の変化を受け止めて、未知の状況にも対応できる力をもち、自分の力で未来を切り拓いてほしいと願う。新学習指導要領では、「生きる力」を育むための三つの柱の一つとして、「習得した知識や技能を活用して、思考力・判断力・表現力等を育成すること」が挙げられており、「何を理解し、何ができるようになるか」だけでなく、「理解していることやできることをどう使うか」が求められている。思考力・判断力、表現力の育成に取り組むことは、本校の子供たちにとっても、これからの時代を豊かに、たくましく生き抜くための一助となると考える。

#### 【主な研究の内容】

##### 1 問題解決型学習 IWAZU Style の授業構造

#### 〈個の追究〉

### 問題解決型学習 IWAZU Style の授業構造

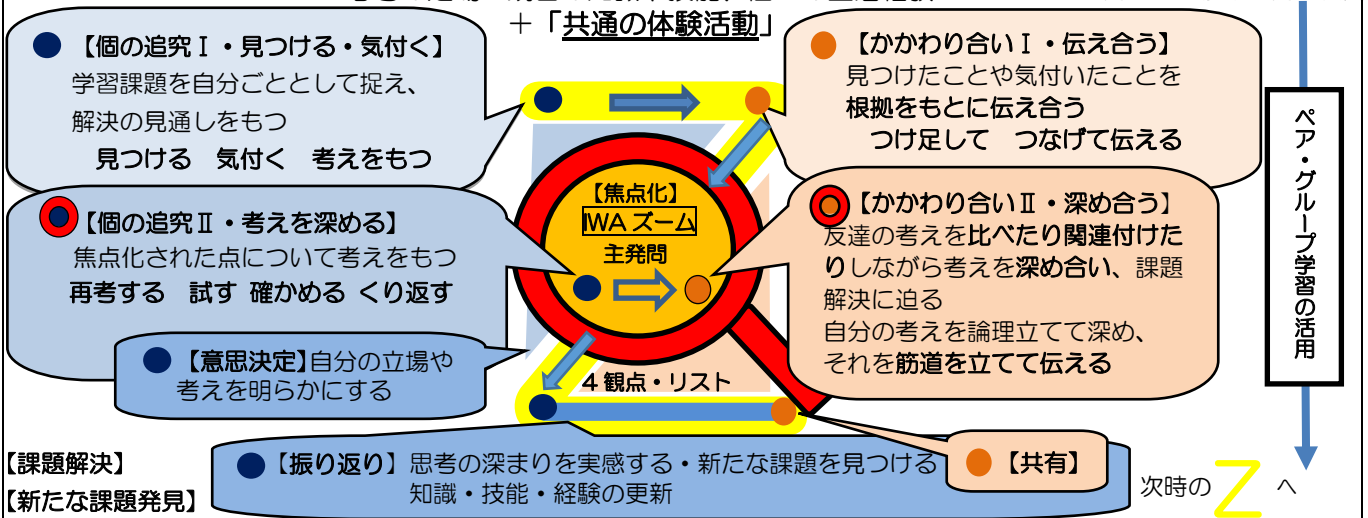
#### 〈全体での追究・かかわり合い〉

#### 【課題設定】

思考の足場＝既習の知識や技能、個々の生活経験

\*1時間または複数時間で展開

＋「共通の体験活動」



#### 【課題解決】

●【振り返り】 思考の深まりを実感する・新たな課題を見つける

●【共有】

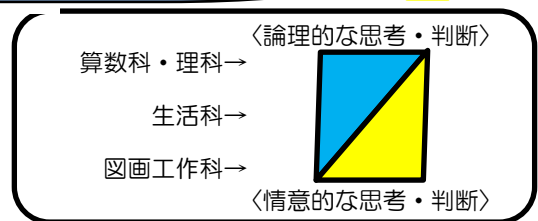
次時のZへ

#### 【新たな課題発見】

知識・技能・経験の更新

##### 2 研究教科の選定と位置付け

思考力・判断力、表現力は、既習の知識・技能や既有的な経験を活用しながら課題解決に迫ることで、相互に関連し合いながら一体的に育まれるものと考え、各教科・領域の見方・考え方の捉え方の違いによって次のように分類し、研究教科を選定した。



- (1) 算数科・理科…「論理的な思考・判断」
- (2) 生活科…「論理的・情意的な思考・判断」
- (3) 図画工作科…「情意的な思考・判断」

2 研究教科の主な実践 (子供の思考の流れ)

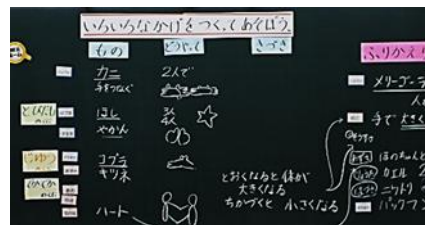
(1) 算数科 (3年「かくれた数はいくつ(1)」…3/3時「線分図を使ってラムネの値段を求めよう」)

- ①共通の体験活動…2年生で学習した逆思考の問題を復習。考えた解き方を「〇〇式」と共有。
- ②個の追究Ⅰ …「分かっていることを線分図に表して解いてみるよ。」  
「あめとガムを順に引くと  $90-30=60$   $60-40=20$  20円」
- ③かかわり合いⅠ…「あめとガムの値段を順にひいたよ。」  
「(線分図を指しながら) あめとガムを先に合わせてから、ひいたよ。  
 $30+40=70$   $90-70=20$ 」
- ④IWA ズーム …「似ている考えは？」→仲間分けしよう「どの解き方が分かりやすいかな。」
- ⑤個の追究Ⅱ …「(順引く式)と(先合わせ式)、どっちが解きやすいかな。  
 $30+40=70$   $90-70=20$ 」  
「先合わせ式も簡単でいいね。」
- ⑥かかわり合いⅡ…「～さんと～さんの考え方は似ていて～。」  
「順引く」と「先合わせ」を比べてみると、～」  
「まとめて解いた方が簡単だよ。」  
「順にひいた方が解きやすいな。」
- ⑦意思決定 …「これからは『先合わせ式』で解いてみるよ。」
- ⑧個の振り返り …「先合わせ式で解くと分かりやすいな。線分図は便利だな。」



(2) 生活科 (1年「おもしろいね、ひかりとかげ」…5/6時「いろいろなかげをつかってあそぼう」)

- ①共通の体験活動…3種類の影ができる「〇〇の国」へ行き、影を作る体験をする。
- ②個の追究Ⅰ (影で遊ぶ) …「でかでかの国で巨人みたいに大きくなったぞ。」  
「飛び出しの国で、みんなで星を作ろう。」
- ③かかわり合いⅠ …「キツネを作ったよ。」「自由の国でコブラを作ったよ。」  
「ぼくも大きい影を作ってみたいな。」
- ④IWA ズーム …「実際に作った影を見てみよう。」「影に映してみたいものは何かな。」
- ⑤かかわり合いⅡ …「飛び出しの国の星が見てみたいな。」「星は何人で作るのかな。」  
「2人でハートを作るのがおもしろそうだよ。」  
「でかでかの国の影は、大きさが変わるよ。」
- ⑥意思決定 …「でかでかの国で、もう一回遊びたいな。」
- ⑦個の追究Ⅱ (もう一度試す) …「大きなカニが手を繋いでいるところを友達と作ってみるよ。」  
「場所を変えると影の大きさが変わったよ。」
- ⑧個の振り返り …「影が大きくなったり小さくなったりしたのがおもしろかったよ。」



(3) 成果と課題

- ・思考したり表現したりしようとする意欲は全般的に向上した。思考や表現の質を高めることはまだできていない。
- ・焦点化において、もっと子供の思考を促し、本時の目標に迫ることのできるような効果的な発問をしたり、課題にじっくりと向き合い考える時間を保障したりする必要がある。
- ・本校の「めざす子供像」に対応した教科ごとの「思考力・判断力、表現力」の目標を設定する。
- ・「IWAZU Style」の授業スタイルを、さらに岩津小の特色あるものにする。また、教科に対応したZのパターンを研究する。